

口腔回復系診療科

歯周病科・歯内療法科

病棟 東病棟 10F

外来 外来診療棟C 5F 連絡先 022-717-8337 (外来)



科長
山田 聡 教授

主な対象疾患

- 歯肉炎
- 歯肉増殖症
- 慢性歯周炎
- 侵襲性歯周炎
- う蝕
- 歯髄炎
- 根尖性歯周炎

診療内容

歯周病に対しては、次に示すようなステップで診療計画を立案して治療を行います。

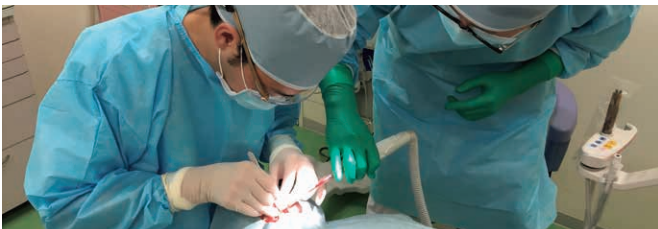
①歯周組織精密検査：歯周ポケット検査、エックス線写真（デンタル10枚法あるいはパノラマ撮影）、および口腔内カラー写真など歯周組織の病気の状態を診断するための検査や、ブラークや咬合状態などの口の中の原因因子、歯周病のリスク因子（喫煙や糖尿病などの全身疾患）についての診査を行って、治療計画を立案します。

②歯周基本治療：歯周病の原因であるプラークを除去するために歯磨き指導や歯石の除去を行います。また、歯周炎の場合には歯の根の表面についた歯石を除去して滑沢にする処置を、1本1本でいねいに行います（ルートプレーニング）。さらに歯周組織を急速に破壊する外傷性因子を除去します（咬合調整、歯ぎしりなどの悪習慣の是正指導、マウスピース作製）また、歯の動揺がある場合は、歯と歯を連結して噛めるようにします。

③歯周外科手術：歯周組織が高度に破壊されていて歯周基本治療で治癒しない場合や歯周組織の再生を図るために、フラップ手術や歯肉切除術などの歯周ポケットの除去を目的とした手術や失われた骨の再生を図る先端治療である歯周組織再生手術を行います。また、局所的に下がった歯肉などに対して審美性を改善するために歯周形成手術を行うこともあります。

④メンテナンス治療：治癒した歯周病が再発しないように、定期的に来院していただいて検査と歯面清掃を実施して、健康な歯周組織を維持します。

また、上記の治療の過程で、歯の欠損部への入れ歯やブリッジの作製、病的に動いた歯の矯正などを行って、快適に咬めるようにまた審美的にも満足できるようにします。この段階では、当科の担当医と補綴科や矯正科の専門医が連携して、それぞれの患者さんに最適な治療を行います。



歯周外科手術中の写真

診療体制

歯周病科には日本歯周病学会および日本歯科保存学会認定の専門医・認定医が数多く在籍しており、最新の専門的な医療の提供を通して大学病院の使命の1つである地域連携について積極的に取り組んでいます。また、関連診療科・部（補綴科、歯科矯正科、歯科衛生部など）の専門家とも連携することができますので、日本でもトップレベルの歯周治療を提供しております。特に、当科では重症の歯周疾患に対して専門的な見地から治療を提供することを目指しています。患者さんのご紹介につきましては、東北大学病院地域医療連携センターご利用頂ければ新患の方でも受診予約が可能です。当科の予約初診につきましては、月曜日、火曜日、および木曜日（月は奇数日のみ）の9時～10時の間で受付をしていますので患者さんの待ち時間短縮のためにも是非ご利用下さい。

得意分野

進行した歯周疾患の治療において症例によっては、従来の歯周治療に加えて歯周組織再生療法が選択できる時代となってきました。当診療科はこれまでにエムドゲイン®を用いた歯周組織再生誘導療法に加え、遺伝子組換えヒトbFGF（塩基性線維芽細胞増殖因子）を有効成分とする日本発・世界初の歯周組織再生医薬品リグロス®を用いた歯周組織再生誘導法に積極的に取り組んでおり、これらのノウハウを生かし歯周外科手術や歯周組織再生手術のすぐれた成績を上げています。また、現在、当診療科では、日本人の侵襲性歯周炎の病態をより良く理解し、その知識を治療法へと繋げるための一環として、日本歯周病学会の認定研修施設として日本人侵襲性歯周炎患者データベースを構築しています。本学会で作成いたしました侵襲性歯周炎スクリーニング表を利用して患者さんの歯周炎の病状をスコア化していただき、侵襲性歯周炎と診断された患者さんにつきましては、当診療科にご紹介いただければ幸いです。



歯周病科のスタッフ

ご紹介いただく際の留意事項

■患者さんのご紹介につきましては、当院地域医療連携センターをご利用頂ければ新患の方でも受診予約が可能です。当科の初診予約につきましては、月曜日（奇数日のみ）、火曜日、および木曜日の9時～10時の間で受付をしていますので患者さんの待ち時間短縮のためにも是非ご利用下さい。